

**事務事業マネジメントシート**  
**(兼)予算編成資料・実施計画資料**

作成日 H 26 年 3 月 24 日作成

<b>事務事業名</b>	宝珠寺のマツ松くい虫防除支援事業  □ 実施計画事業	所属部局	教育委員会	単位番号	12419		
		所属課室	文化財課	課長名	有泉 久		
<b>基本政策</b>	V 個性と文化を育む都市づくり	所属担当	文化財担当	担当者名	市川 千草		
<b>政策</b>	25 文化づくりの推進	予算科目	会計	名称	款	項	目
<b>施策</b>	39 歴史・伝統文化の振興		01	一般	10	04	05
<b>事業期間</b>	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	細目	020	05			
<b>事業の内容</b> 事業の概要	事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 近年増加する松くい虫に起因する天然記念物の腐朽に対応するため、県指定天然記念物である宝珠寺のマツの管理者の行う薬剤散布等防除作業について補助する。	法令根拠	南アルプス市文化財保護条例				
		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)					
		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)		
		負担金補助及び交付金	77				
						計	77

**1 現状把握(DO)**

## (1) 事務事業の目的と指標

① 活動	文化財所有者の行う薬剤散布等松くい虫防除事業の補助。
25年度活動実績	文化財所有者の行う薬剤散布等松くい虫防除事業の補助。
26年度活動予定	文化財所有者の行う薬剤散布等松くい虫防除事業の補助。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	宝珠寺のマツ(県指定天然記念物)
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	地域の象徴として古来から守り伝えられてきた天然記念物を次代へ引き継ぐことができる。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	地域の歴史や自然を守る心の醸成。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 薬剤散布等回数	回
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 県指定天然記念物(マツ)	本
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 合併後同木が木勢を保つ年数	年
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 文化財・伝統芸能の保護や継承の市民の満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	77	77	77	79	79	79
		事業費計 (A)	千円	77	77	77	79	79	79
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	90	90	90	90	90	90
		人件費計 (B)	千円	410	410	410	410	410	410
		(A)+(B)	千円	487	487	487	489	489	489
	活動指標	ア 回	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
		イ							
		ウ							
	対象指標	ア 本	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		イ							
		ウ							
	成果指標	ア 年	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	12.0	
		イ							
		ウ							
	上位成果指標	ア %	38.0	38.0	39.0	40.0	41.0	41.0	
		イ							

## (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	松くい虫の媒介する線虫の被害を被った場合、樹勢の回復はほとんど不可能であるので、県補助制度を活用し、合併前から実施されている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	松くい虫の被害については、近年その深刻さを増している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	地域の象徴とされている古来から守り伝えられてきた指定文化財を次代へ引き継ぐためにも、支援が必要。

## (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 被害を最小限に抑えるため、定期的に文化財保護指導員(県が委嘱)が巡回している。
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	定期的に文化財保護指導員(県が委嘱)が巡回している。

事務事業名	宝珠寺のマツ松くい虫防除支援事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	------------------	-----	-------	-----	------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域の象徴として古来から守り伝えられてきた文化財は地域の大切な資源といえ、地域文化振興の素材となりうる。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 マツは宗教法人の所有ではあるが、行政として指定した以上、支援しなければならない。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市内に所在する県指定文化財の中で、松類は宝珠寺のマツと鏡中条のゴヨウマツだけである。
	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 現在の判断は、樹木医の診断に基づいたものである。
有効性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 松くい虫の媒介する線虫の被害を被った場合、樹勢の回復:指定文化財なので害虫から木を守っていかなければならない。はほとんど不可能。
	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在の判断は、樹木医の診断に基づいたものである。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 所有者からの申請、実績報告の確認提出、県への進達など、書類上の最低限の事務が主であり削減の余地はない。
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内に所在する県指定文化財のなかで、松類は宝珠寺のマツと鏡中条のゴヨウマツだけであるので妥当。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	指定文化財の保護保存において適切な事業といえる。松くい虫の被害については、県内でも非常に深刻化しており喫緊の課題であるので、指定文化財の所有者、県文化財保護指導員と連絡しあい早期の発見、早期の防除へつなげ、被害を最小限にして行く。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																							
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果 水 準</td> <th>向 上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維 持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低 下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準					削減	維持	増加	成 果 水 準	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維 持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		低 下	<input type="checkbox"/>		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成 果 水 準	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																				
	維 持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																					
	低 下	<input type="checkbox"/>																						
(2)改革改善案について 継続的な維持管理及び保存を図る。																								
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 これ以上マツの樹体を悪化させないように文化財保護指導員(県が委嘱)と定期的に巡視する。	(5)事務事業優先度評価結果 平成25年度																							
	成果優先度評価結果 (4)																							
	コスト削減優先度評価結果 (9)																							